

～～第8366回～～

赤倉温泉スキー場

～H30. 2. 4-5～

2月4日、ファミリーマート静岡用宗店 5:00 出発する。今週初めより北陸、東京に大雪の報道があり、雪不足の心配はないが、交通の心配があるほどの大雪である。車は四輪駆動、冬用タイヤ、チェーン、スコップ、滑り止めの砂を準備して出発する。2月2日、3日と天気が良かった為にアスファルト面がしっかり確保されていた。妙高高原 IC を降りる時には 150 cm 程の道路脇は雪の壁となったが、道路はアスファルト面がしっかり確保されていて運転の心配がなかった、旅館の駐車場に車を入れて、チェックインまでの間、更衣室利用して荷物をまとめ、着替えてクマドーゲレンデに出る 10:30。宿からゲレンデの距離は 100m 位であったが、スキー靴では歩き難い。天気は曇り、青空が一部にのぞき、妙高山 (2454m) の姿が望めた。日曜日だが人出はまばらで、リフトを次々に乗り換えて滑ることが出来る。途中で昼食を入れて、主なゲレンデは 2～3 度滑ることができた。緩斜面が多くて初級 60%、中級 30% と我々にはありがたいゲレンデ構成といえる。14:00 頃から雪が舞い始め視界が悪くなる。それでも 16:00 過ぎまで楽しみ宿に帰る。宿はかけ流しの温泉、冷えた体を温め、暖まった後は田舎料理と鍋料理の夕食で一日の疲れを癒す。

参加者：9 名（静岡西 5、静岡北 1、静岡東 2、藤枝 1）

天候：曇り時々雪

地図：赤倉

コースタイム：ファミリーマート用宗 500＝清水 IC 540＝妙高高原 IC 930＝赤倉温泉スキー場 945

記録：静岡西支部 S/F

2月5日、6:30 に起床、気になる天気は東の空が明るく、青空も見える、昨夜のうちに雪が積もり車の屋根に、こんもりと 30 cm 程ある、夜明け前から雪かきのエンジン音が響いていた。昨夜の新雪のゲレンデが滑れると思うと気持ちが高ぶる、7:30 からの食事が待ち遠しい。少し早めに食堂に向かうと、まだ開いていない、待っている間に、ホールでストレッチをして体を目覚めさせた。スキーウェアに着替える前でしっかりストレッチが出来た。朝食後チェックアウトの手続きをしてゲレンデに出る 8:40。昨夜の新雪が、旭で銀世界を輝かせる。リフトに乗って、眺める景色は一段輝く。月曜の朝でスキー客はまばらで広いゲレンデを幅いっぱい滑ることができる。圧雪した雪面を自分だけのシュプールが描ける気分は最高だ。気温が低いため乾燥した雪は、ターンで舞上る粉雪がスキーの楽しさを演出する。昨日ゲレンデの様子を確認していてゲレンデを思い通りに移動できる。圧雪車の圧雪真新しいゲレンデの移動はスキー場を独り占めにした気分である。休憩も忘れて 11:00、青空がすくなくなり雪が降りだして朝の醍醐味は小さくなる。雪はだんだん強くなり視界がわるくなってきた。11:45 雪質が良く、

心残りではあるが早目に旅館に引き上げた。早目の切り上げで帰り支度は余裕をもって整えられた、冷えた体を温泉で温め、さっぱりして帰途に就く。旅館前から温泉街の道路は昨夜の雪で白く覆われて、慎重に運転をする、それでも妙高高原 I Cに乗るときにはアスファルトの面がしっかり見えてほっとする。高速道の雪が舞う中、豊田飯山まで帰ると雪は上がり、周りの積雪は一気に少なくなった。長野まで帰ると雪景色も消えて南に青空が覗いている、車は順調に走れた。諏訪 S A、富沢で休憩を入れて、18:00 前に静岡 I Cに着いた。天気が予報より良い方向にずれて楽しいスキーとなった。

天候：曇り後雪

コースタイム：赤倉温泉スキー場 1250＝妙高高原 I C 1315＝静岡 I C 1750＝ニッポンレンタカー 1820＝用宗 1840

記録：静岡西支部 S/F



赤倉温泉スキー場



赤倉温泉スキー場、新雪の
ゲレンデ